

CASBEE-広島（2010年ver.1）

(仮称)サーパス皆実町ネオスタイル西館 新築工事



用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります



欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境						0.40			3.7
1 音環境					2.6	0.15	2.7	1.00	2.7
1.1 騒音			LL-45を採用 LL-50を採用		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 暗騒音レベル		3.0			1.00	3.0	1.00		
設備騒音対策					-		-		
1.2 遮音					3.0	0.40	3.4	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0			1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能					-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	4.0	0.20		
1.3 吸音					1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境							1.6	0.35	
2.1 室温制御			複層ガラス等の採用		2.2	0.50	5.0	1.00	
1 室温設定		3.0			0.63	-	-		
窓の開口・閉鎖制御					-		-		
3 外皮性能		1.0			0.38	5.0	1.00		
4 ゾーン別制御性					-		-		
自然・人工冷暖気配給の制御					-		-		
自然・人工冷暖気配給の配慮					-		-		
自然・人工冷暖気配給の設備・工法					-		-		
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					3.0	0.25	3.7	1.00	3.6
3.1 屋光利用			エントランス 5.4%以上 / LD 2.5%以上		4.2	0.30	3.4	0.50	
1 屋光率		5.0			0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口					-		0.30		
3 屋光利用設備		3.0			0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策					2.0	0.30	4.0	0.50	
窓の開口・閉鎖制御					-		-		
2 屋光制御		2.0			1.00	4.0	1.00		
3.3 照度					3.0	0.15	-	-	
1 照度		3.0			1.00	-	-		
照度の基準					-		-		
3.4 照明制御			3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境					3.2	0.25	3.3	1.00	3.3
4.1 発生源対策			ほぼすべての内装建材にF☆☆☆☆を採用		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		4.0			1.00	4.0	1.00		
放射線対策					-		-		
気体汚染対策					-		-		
排水・汚水対策					-		-		
4.2 換気					2.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量		3.0			0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能					-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		1.0			0.50	1.0	0.33		
給気計画					-		-		
4.3 運用管理				-		-			
1 CO ₂ の監視			-		-				
2 喫煙の制御			-		-				
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.0
1 機能性					2.6	0.40	3.4	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ			実物大モデル・インテリアパース等を作成し、照明及び内装を計画		1.0	0.60	3.0	0.60	
1 広さ・収納性					-		-		
2 高度情報通信設備対応					-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画		1.0			1.00		-		
1.2 心理性・快適性					5.0	0.40	4.0	0.40	
1 広さ感・景観					-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画		5.0			1.00	5.0	0.50		
1.3 維持管理						-		-	
1 維持管理に配慮した設計					-		-		
2 維持管理用機能の確保			-		-				
2 耐用性・信頼性					3.0	0.31		-	3.0
2.1 耐震・免震			劣化対策等級2 タイル貼採用		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0			0.80		-		
2 免震・制振性能		3.0			0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数					3.3	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数		4.0			0.23		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		5.0			0.23		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0			0.09		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0			0.08		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0			0.15		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0			0.23		-		

	2.3 信頼性・更新性				-		-	
	2.4 信頼性			2.8	0.19		-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		1.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	メタルケーブル採用 / 精密機器の地下埋設を避けている	4.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり				-	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり			-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ			-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制		設計住宅性能評価 省エネルギー対策等級 4等級適合	5.0	0.40		-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	-	3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		燃焼系瞬間式給湯器(潜熱回収型)採用	5.0	0.40		-	-	5.0
4 効率的運用				-		-	-	-
	4.1	モニタリング			-		-	
	4.2	運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	-	2.8
1 水資源保護			3.4	0.15		-	-	3.4
	1.1	節水	節水型便器採用	4.0	0.40		-	
	1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
	2	雑排水再利システム導入の有無			-		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63		-	-	2.7
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが容易に分別可能	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.22		-	-	2.6
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		2.5	0.68		-	
	1	消火剤		3.0	0.50		-	
	2	断熱材		2.0	0.50		-	
	3	冷媒		-	-		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率 78%	4.7	0.33		-	-	4.7
2 地域環境への配慮			2.4	0.33		-	-	2.4
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.6	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.33		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	1.00		-	
	2	振動		-	-		-	
	3	悪臭		-	-		-	
	3.2	風害、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3	光害の抑制		3.0	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	